

TOSHIBA

Good Job!

君がいてくれてよかった、と言われる仕事がある。

ひらけ、
ミライ!



東芝デジタルソリューションズ株式会社

Hello!ミライ。

「こうしたい、こうでありたい」というお客さまの思いに寄り添いながら、
その夢をICTで実現すること——それが私たちの思い。
直接のお客さまだけでなく、その先にいる、企業で働き、社会で暮らし、家庭でつろぐ、
すべての人のために、私たちはソリューションを提供しています。
東芝グループのデジタルソリューション事業の担い手として、
その力は数多くの実績が証明しています。

IoT

AI

その力を、もっと広く世の中に届けたい...

ソリューションという仕事の未来を共に創るあなたを、
いま私たちは求めます。

フィールド
IoT

物流・
流通IoT

エネルギー
IoT

社会
インフラ
IoT

ものづくりIoT

ビル・
施設IoT

画像認識

音声認識

音声対話
知識処理

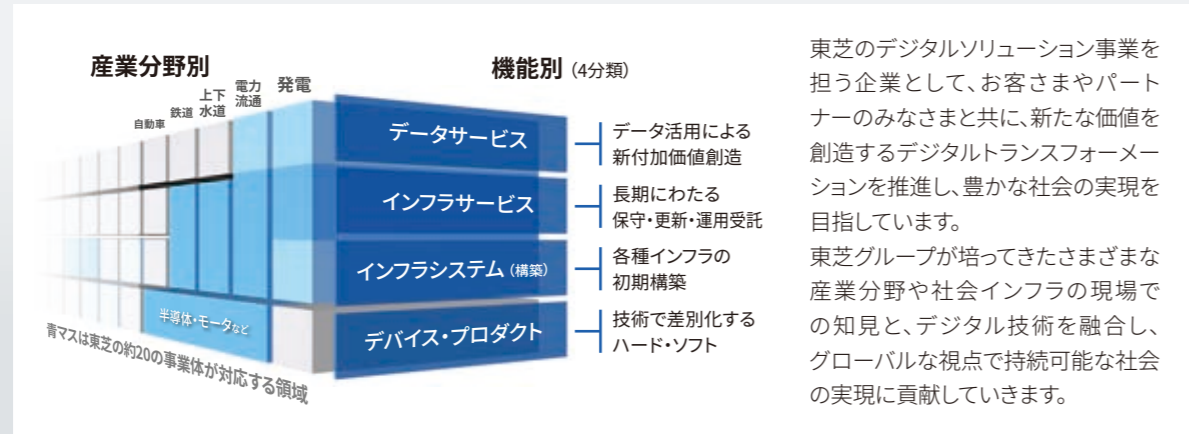
音声翻訳

音声合成

共創により新しいビジネスモデルを創出する 東芝デジタルソリューションズの技術と結集力

東芝デジタルソリューションズは、サイバー・フィジカル・システム(CPS)テクノロジーを活用した新たなサービスや価値の共創に取り組んでいます。
そして、新たな未来に向けて、私たちのビジョン「やさしく、あたたかなデジタルで社会を豊かにする。」を掲げ、グローバル社会が抱えるさまざまな課題の解決に取り組んでいきます。

東芝の事業は機能別で見ると「デバイス・プロダクト」「インフラシステム」「インフラサービス」「データサービス」の4つの事業を柱として、持続可能な社会の実現に取り組んでいます



東芝のAI・デジタル技術に、幅広い事業ドメインの経験・知識を結集

現実やモノなどのフィジカルの世界と、デジタル仮想空間であるサイバーの世界が相互に連携し、生活や産業の発展に役立つ新しい価値を創造するサイバー・フィジカル・システム(CPS)の世界が鍵となります。
このCPSの実現に向けて東芝グループの強みである「顧客

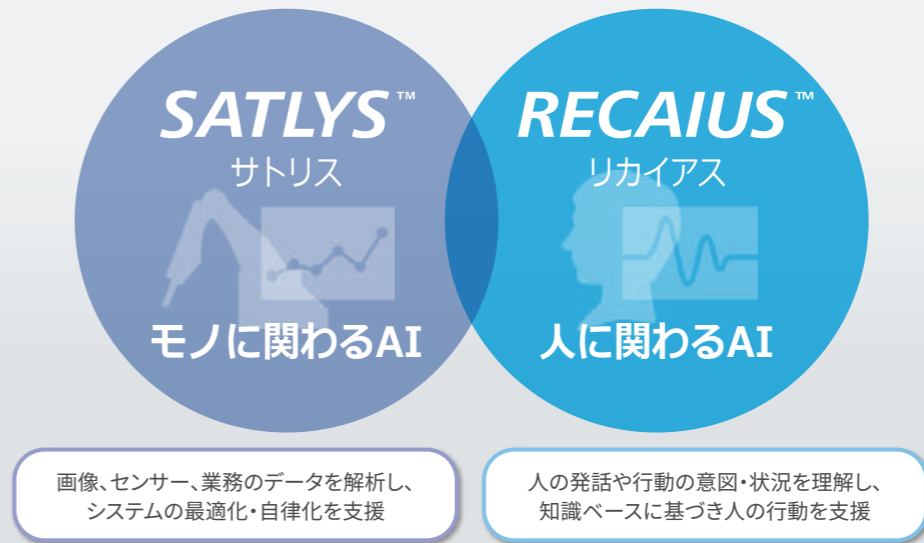
基盤となる事業ドメイン資産」と「ものづくりと使い方のノウハウ」に、**当社が有する「ICTノウハウ」を組み合わせ**東芝グループの総合力でCPSを構築し、新たなサービスや価値の共創に取り組み、世界有数のCPSテクノロジー企業への進化を目指しています。



※CPS (Cyber Physical Systems) とは、実世界(フィジカル)におけるデータを収集し、サイバーの世界でAI・デジタル技術などを用いて分析したり、活用しやすい情報や知識とし、それをフィジカル側にフィードバックすることで、付加価値を創造する仕組み

東芝のCPS技術を支える2つのAI

東芝で長年にわたって研究開発を続けてきたAI技術を、アナリティクスAI「SATLYS(サトリス)」とコミュニケーションAI「RECAIUS(リカリアス)」として提供し、ものづくりで磨いたデータ分析力と画像・音声技術を生かし、業務の最適化や新たなビジネスモデルの創出に貢献します。



わたしたちのビジョン

「やさしく、あたたかなデジタルで社会を豊かにする。」

時代はいま、デジタル化による変革の時を迎えています。それがさらに進む10年後の未来では、IoTやビッグデータ、AIの活用があたり前の世の中となり、人や社会、ビジネスのあり方が大きく変わっていることでしょう。
わたしたちは、デジタル化による変革の中心には社会に暮らす人々がいると考え、そのあるべき未来を想い描きながら、「やさしく、あたたかなデジタルで社会を豊かにする。」というビジョンを掲げました。このビジョンのもと、わたしたちは人に寄り添う発想とテクノロジーにより、多様な人々の社会参画をはじめとしたさまざまな課題の解決に取り組み、持続可能な豊かな社会の実現を目指します。そして、人が生き生きと活躍できる明るい未来をみなさまとともに創ってまいります。

わたしたちのビジョン
やさしく、あたたかなデジタルで社会を豊かにする。

ビジョンの実現に向けた4つのアクション
Imagine: 未来の当たり前を想像する
Change: 自ら進化する
Create: ともに価値を生み出し続ける
Connect: 世界に発信する

わたしたちのビジョン >>>
詳しくは、こちら!



新たな社会課題の解決

深刻化する社会問題

さまざまなソリューションやデジタル技術で課題を解決

さまざまなソリューションで課題を解決し、 新しい価値の創出とビジネス変革で未来を切り開いていきます！

事例紹介(多数)

ソリューションやデジタル技術で課題解決！

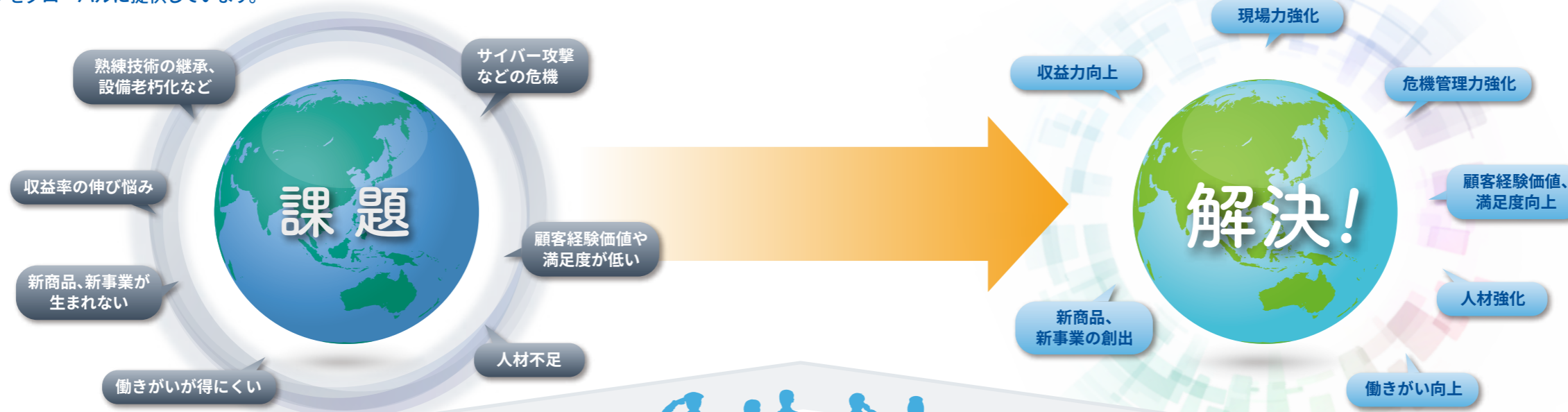


ものづくりの現場から、エネルギー、公共インフラ、鉄道・産業システム、ビル・施設、流通などさまざまな領域で事業を展開してきました。

当社は、これらの領域で培ってきた幅広い経験やノウハウと、IoTや人工知能(AI)など先進のデジタル技術を融合し、

さまざまなインダストリー領域の企業や官公庁・自治体のお客さまへ向けて、

デジタルソリューションをグローバルに提供しています。



東芝デジタルソリューションズのソリューション



製造業向けソリューション	物流・流通業界向けソリューション	金融機関向けソリューション	メディア業界向けソリューション	電力・社会インフラ向けソリューション	官公庁・自治体向けソリューション
共通業務ソリューション					
人財管理ソリューション		CRMソリューション		働き方改革・情報活用 ワークスタイル改革・コミュニケーション基盤、 事務効率化、自動化	アウトソーシング
デジタルで新しい価値を創造するIoTソリューション	データの価値を向上させるAIテクノロジー	新たな価値創造のためのデジタルデータ基盤	インフラを支えるセキュリティ技術	企業活動や社会を支えるICTインフラ	
ものづくりIoT	アナリティクスAI	IoTプラットフォーム データ収集・蓄積・分析 / 学習・検知/推論、 アセットマネジメント	情報セキュリティ	プラットフォームインテグレーション・クラウドインテグレーション	
フィールドIoT	コミュニケーションAI		制御システムセキュリティ	ICT基盤 ハードウェア、ソフトウェア、クラウド	
				運用、保守サービス	

デジタルトランスフォーメーションへの取り組み 進化を支えるITアーキテクチャ

デジタル化、ビジネス変革を実現するためのアーキテクチャ

デジタルトランスフォーメーション(DX)とは

東芝デジタルソリューションズは、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)実現を支える、先進的なITアーキテクチャにも積極的に取り組んでいます。

DXとは、企業が市場や顧客の変化に柔軟に対応しながら、デジタルテクノロジーを活用した新しいビジネスモデルやサービスで変革を起こし、競争優位性を保つことだと言われています。簡単に表現すると、デジタルの力をビジネスに使う、企業が大きく成長することだと、考えることができます。

例えば新たなスマホアプリで便利なサービスを提供したり、AIやIoTでビジネスを改革したり、これらはすべてDX活動です。現在、多くの企業がDXの実現に取り組んでおり、東芝デジタルソリューションズも、サイバー・フィジカル・システム(CPS)の考え方で自らDX活動に取り組むとともに、お客さま企業のDX実現について、活発な支援をしています。



DXを実現する上でITにもとめられることは

DXを実現する上でITにもとめられることはなんですか?

デジタルの世界は、激しい競争の世界とすることができます。皆さんも、スマホアプリがバージョンアップを繰り返すことで、どんどん使いやすくなっていくということを経験された方も多いと思います。ライバル企業より早くサービスを進化させた企業は、より多くのユーザーを獲得し、さらにビジネスを拡大することができます。

一方で進化が遅い企業は、ユーザーから見放され、ついにはその市場や事業から撤退を余儀なくされます。つまり、デジタルビジネスで成功するためには、このようなサービスやアプリケーションの継続的な進化のスピード競争に打ち勝つ必要があるということです。



※1 マイクロサービス: サービス志向で設計され、軽量な通信インターフェースを実装し、自律的かつ協調して動作するシンプルなアプリケーション
 ※2 コンテナ: アプリケーション稼働に必要なOSコールやライブラリを仮想的なイメージにまとめ、アプリケーションの環境独立性とポータビリティを高めるための技術
 ※3 アジャイル: 短い反復を繰り返すことで、競争力の高いソフトウェアを短期間に開発するための開発方法論
 ※4 ビルド: ソースプログラムから実行可能なソフトウェア成果物を生成すること。
 ※5 デプロイ: 実行可能なソフトウェア成果物をサーバーやクラウド等のプラットフォームに展開すること。
 ※6 DevOps: 開発担当者と運用担当者が、連携・協力してプロセスを進めることで、迅速にソフトウェアの開発・テスト・リリースを実現する手法
 ※7 ゼロダウンタイムデプロイ: 稼働中のシステムを停止せずデプロイすること。
 ※8 CI/CD(Continuous Integration/Continuous Delivery): 継続的インテグレーションと継続的デリバリーを実現するためのプロセス自動化技術
 ※9 API: アプリケーションプログラミングインターフェースの略。アプリケーションどうしが連携するためのインターフェース。
 ※10 メッセージング: アプリケーションどうしのデータ通信手段のひとつ。

サービスの継続的進化を支えるITアーキテクチャとは

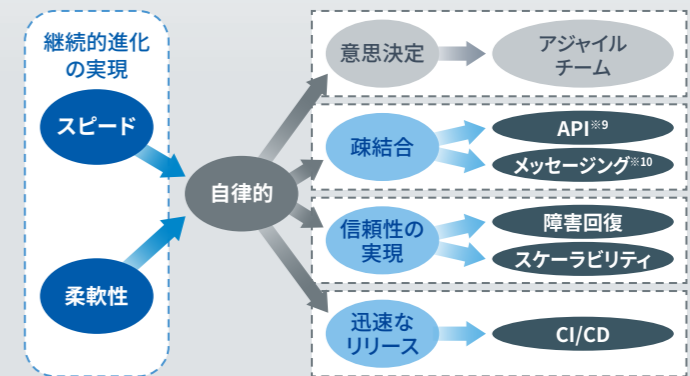
次に、ITの継続的進化を実現するための、新しいアーキテクチャについて解説します。

新しいアーキテクチャは、マイクロサービス^{※1}やコンテナ^{※2}といった技術でアプリケーションがきちんと区画整理され、システムの部分改良や拡張がやりやすいように工夫されています。

これは、改良の度にミドルウェアやハードウェアへの影響調査や、場合によっては再構築作業を必要とした従来のITとは大きく異なります。

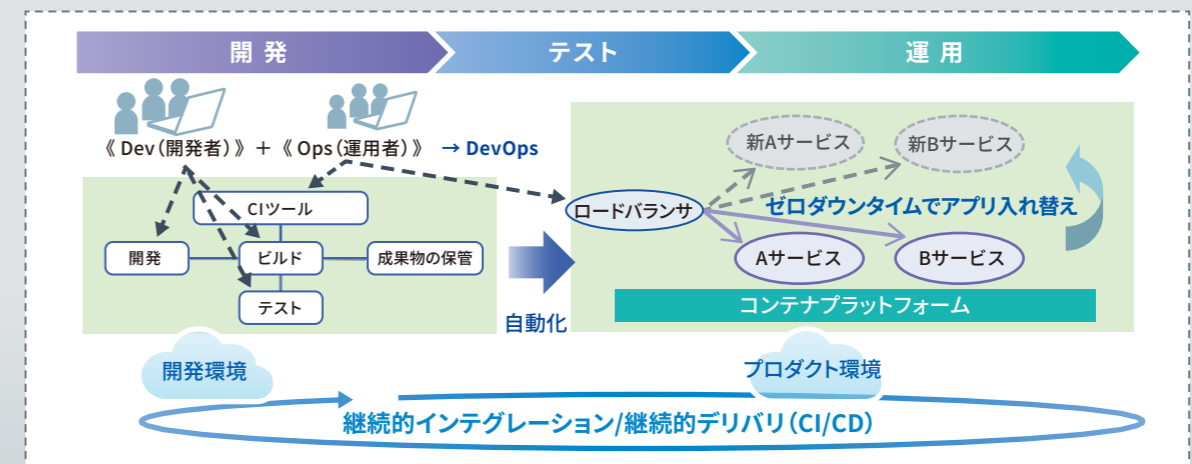
DX実現のためのアプリケーション開発は、スピードと柔軟性の両立が重要です。

そのため、独立性が高い業務や機能でシステムを分割し、それらをアジャイルチーム^{※3}に割り当て、それぞれのチームが自律的に活動できるようにします。



それぞれのアジャイルチームは、疎結合で独立性の高いマイクロサービスの開発やビルド^{※4}、テスト、プロダクト環境へのデプロイ^{※5}を行います(DevOps^{※6})。この際、ルーチン作業を自動化し、ゼロダウンタイムデプロイ^{※7}を行うことで、継続的なインテグレーションやデリバリー作業(CI/CD^{※8})を効率化します。

東芝デジタルソリューションズは、このような先端ITの活用ノウハウによって、東芝およびお客さまのDX変革を支えています。

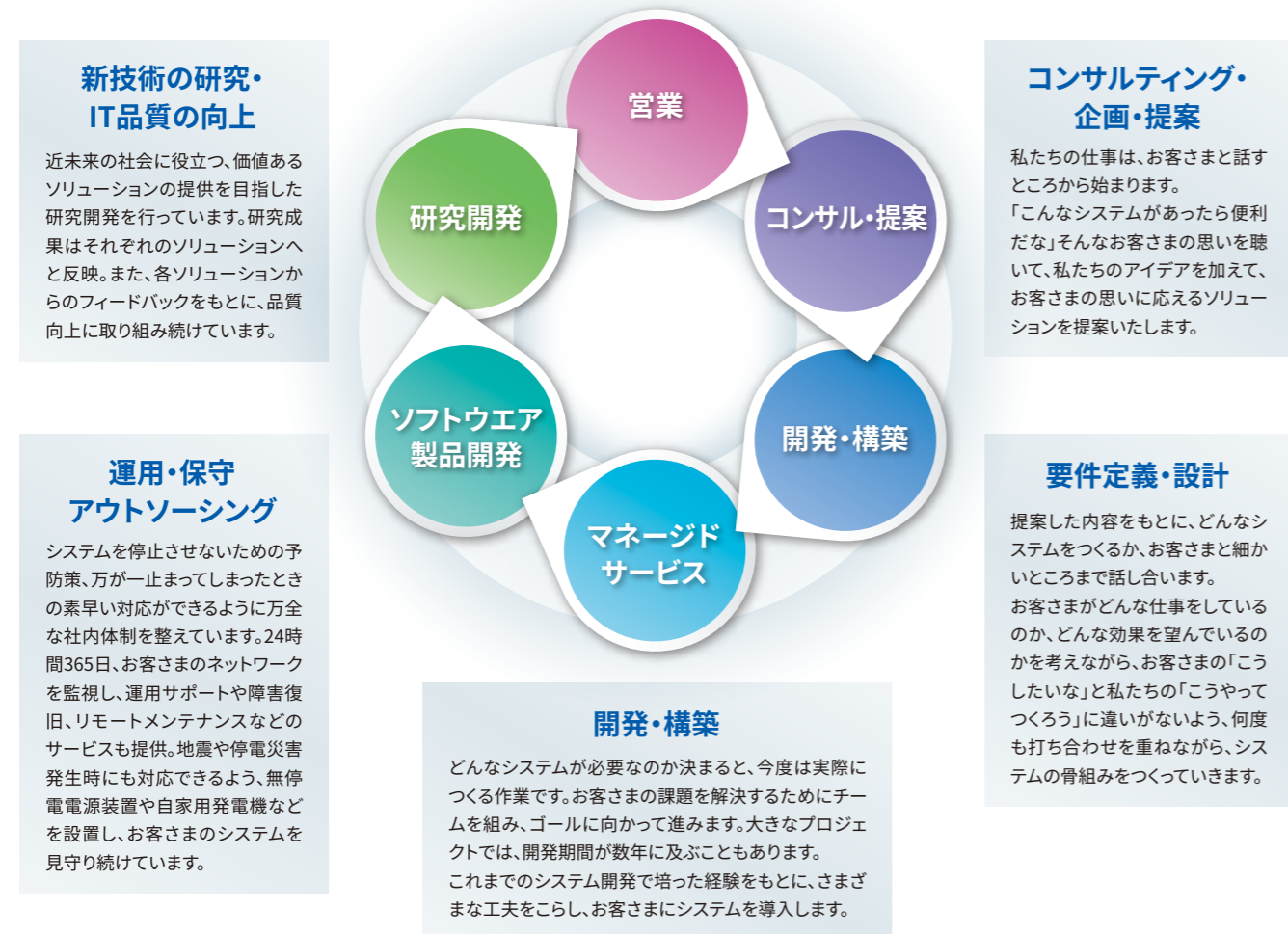


システムのライフサイクル における各職種と業務



お客さまの悩みやご要望に、しっかり対応するために
私たちの仕事は、徹底的にお客さまを知ることからはじめます。
それは、お客さまの経営課題に対して、最適なソリューションを導き出すためにほかなりません。
お客さまの視点に立ち、最善の解決へと導きます。私たちは、東芝グループ内外の技術・商品を融合し、
システムのライフサイクル全体と最先端のソリューションを提供し続けます。

システムのライフサイクル全体にわたるサービスを提供



◎ 主担当 ○ 副担当 △ 必要に応じて対応

職種と担当業務		コンサルティング・提案	要件定義	設計	開発・構築	運用・保守	研究開発
事務系	営業	◎	△	—	—	—	—
	研究開発	○	○	○	○	△	◎
技術系	システムエンジニア	◎	◎	○	△	○	△
	コンサル・提案	◎	◎	○	△	○	△
	開発・構築	△	○	◎	◎	◎	△
	マネージドサービス	○	○	◎	◎	◎	△
	ソフトウェア製品開発	△	○	◎	◎	◎	△

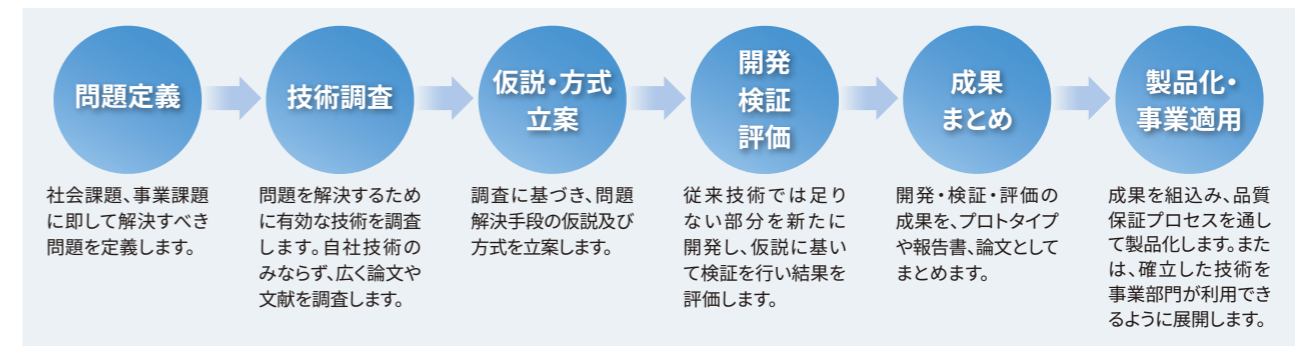
研究開発



デジタル社会の実現に向けて、「データ活用」と「デジタル化の実現」に必要な
ソフトウェア及びソフトウェア生産技術の研究開発とソフトウェアサービスの開発・提供を通して
社会に新しい価値を創出します。

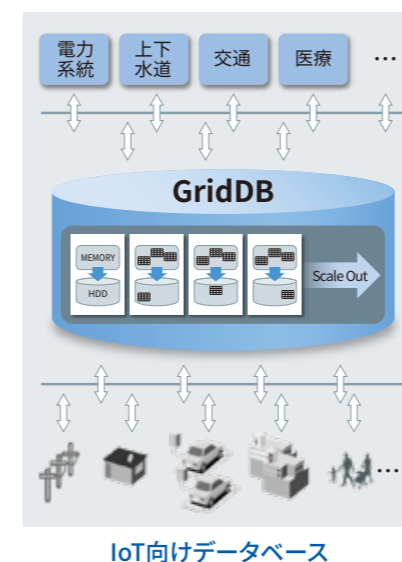
主な業務内容

ソフトウェアの要素技術の研究開発からサービスの実用化まで一貫して取り組んでいます。
「データを集める・蓄える」「データを活かす」「サービスを俊敏につくる」技術でデータ活用とデジタル化の実現を牽引し、
より良い社会の実現に貢献します。



「データを集める・蓄える」技術

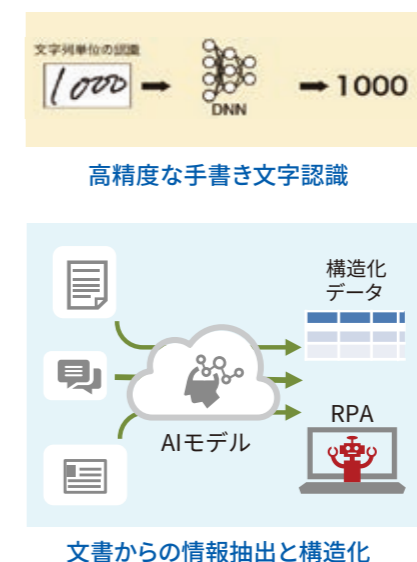
CPSの基盤として、大量のデータが集まるIoT向けのデータベース技術を開発しています。高速性に加え、高い拡張性と信頼性により、社会インフラを中心に活用されています。また、新しいサービスの提供に向けて、ブロックチェーンの研究と応用検討を進めています。



IoT向けデータベース

「データを活かす」技術

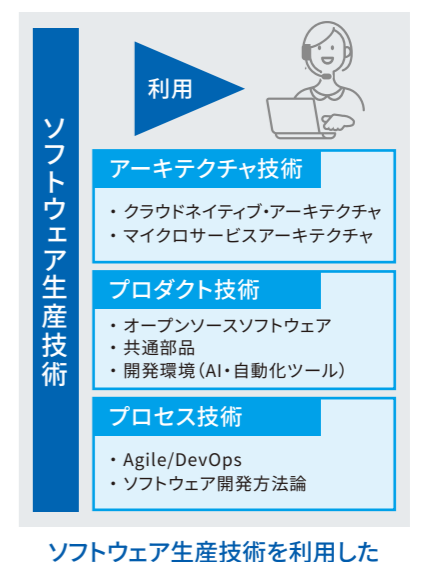
ディープラーニングなどの最先端のAI技術を活用した文字・画像認識、文書理解、自然言語処理などの知識・メディア処理技術の研究開発を行っています。集められたデータを活用して価値を生み出し、より便利な社会を実現するためのソフトウェアサービスを提供します。



文書からの情報抽出と構造化

「サービスを俊敏につくる」技術

日々進化する先進のソフトウェア技術を適切に活用し、安定したサービスを俊敏に実現するソフトウェア生産技術の研究開発をしています。プロセス技術、プロダクト技術、アーキテクチャ技術への取り組みにより、「データを集める・蓄える」「データを活かす」ソフトウェアシステムの実現を支えます。



ソフトウェア生産技術を利用したサービス開発

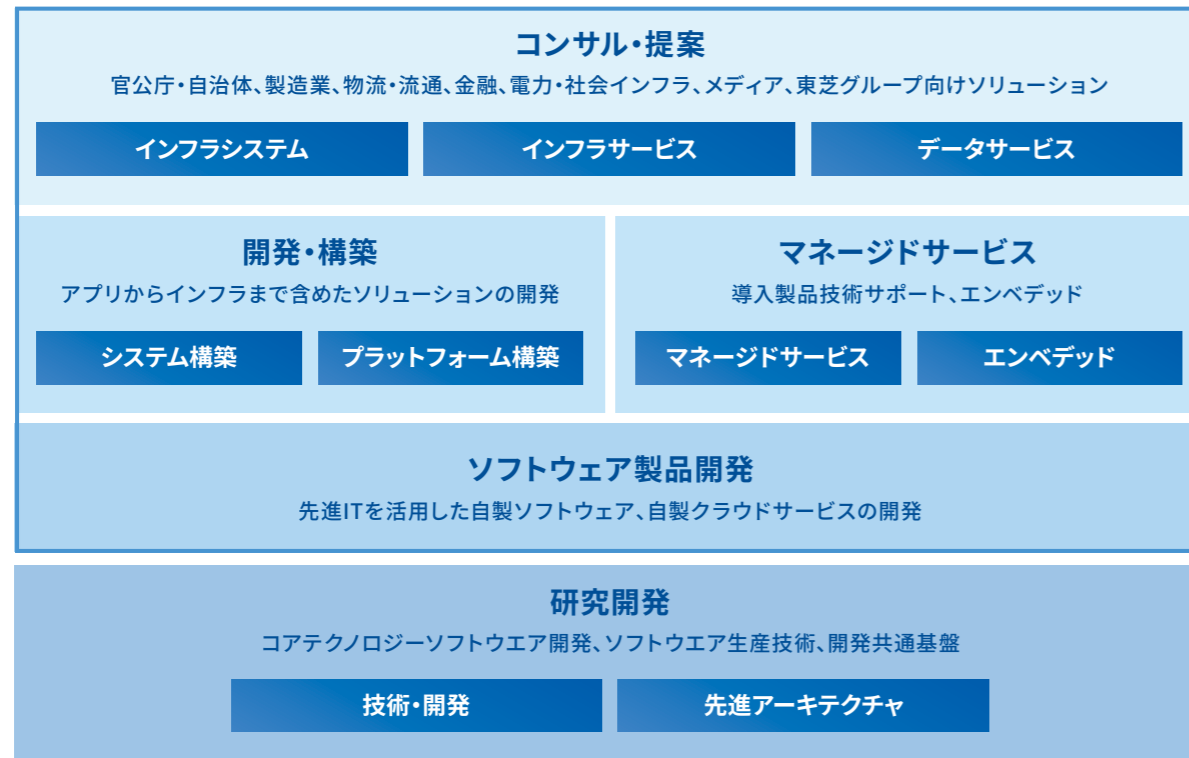
システムエンジニア

- コンサル・提案
- 開発・構築
- マネージドサービス
- ソフトウェア製品開発



技術的な観点からトータルにお客さまをサポート

ICTに関する知識と経験から課題を抽出し、独自のアイデアにさまざまな技術を組み合わせて高品質なソリューション開発をご提供。未来の社会を広い視点で捉えるスキルやマネジメントスキルなども交えて、コンサルティングから開発・構築、運用・保守まで、ICT技術の観点でトータルにサポートします。



主な業務内容

システム開発を担うものづくりのプロフェッショナル

東芝のものづくりのノウハウと次世代研究を活かし、大規模社会インフラのようなミッションクリティカルなシステム開発から企業経営を支える業務システムまで、幅広いソリューションを提供します。

● お客さまの課題を解決するシステムを提案



お客さまの業務を理解し、コンサルティング・企画・提案、要件定義を行います。技術的な観点から、いつもお客さまに寄り添い、お客さまの課題をサポートします。

● アプリ～インフラを含めたソリューションの開発・構築



営業・技術部門と連携し、要件定義に基づき、先端技術を取り入れながら設計、開発・構築などを行い、お客さまの課題を解決します。

● 製品ベースのプロフェッショナルサービス



ICTの戦略的な活用に向けて、お客さまのICT基盤を導入から運用までトータルにサポート。お客さまのニーズに合った最適なICT環境を提供します。

● クラウドベースのマネージドサービス



最新のクラウド、IoT、AI、OSSなどのテクノロジーを取り込み、ITシステムの維持・メンテナンスにとどまらず、最適化・自動化による継続的な改善を提供します。

● 組み込みエンジニアリングサービス



お客さまと共同で、自動車や産業機器などに搭載される組み込み機器向けのソフトウェアや要素技術を開発します。

● ソフトウェア製品開発



東芝で研究・開発された新しい技術を活かし、ソフトウェア製品やクラウドサービスを開発します。新しい技術、新しいアーキテクチャ、新しい開発プロセスを積極的に取り入れ、新たな顧客価値を創造・提供します。

各業界向けの主なソリューション

官公庁・自治体

官公庁や身近な役所の各種サービスを支えるシステムを提供しています

製造業

ものづくりを支える生産管理システム、工場の基幹システムを提供しています

物流・流通

安心・安全に品物をお届けする物流管理システムなどを提供しています

金融

銀行のサービス品質を高める業務品質システム、証券フロント業務を支援するシステムなどを提供しています

電力・社会インフラ

空調省エネ制御発電システムなど、暮らしを支えるためのシステム、高速道路、鉄道などの交通システムなどを提供しています

メディア

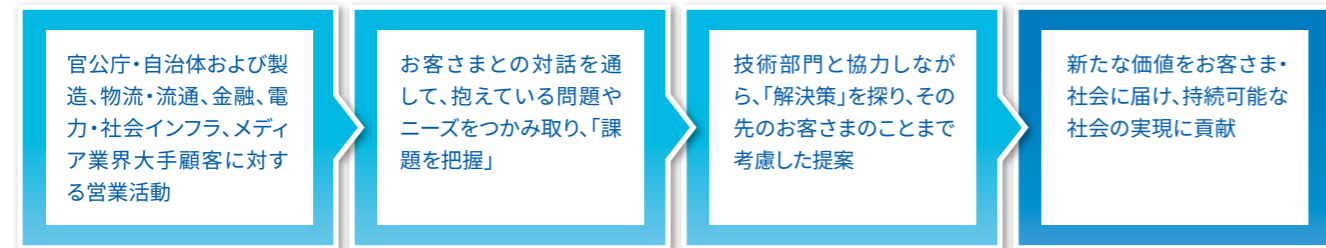
新聞製作システムやテレビ番組編成・管理システム、コマーシャル送出システムなどを提供しています



お客様の視点で価値を考える

当社の各種ソリューションを理解したうえで、
 お客様の新規開拓や既存のお客様への更なる深耕のために営業活動をリードし、
 技術部門と連携して社内の調整や、お客様との折衝を行い受注活動をコントロールします。

主な業務内容

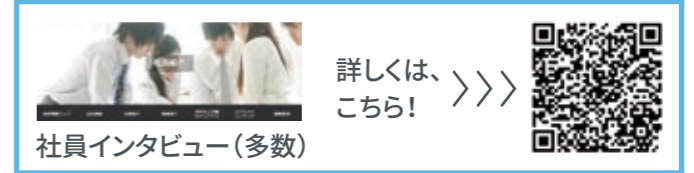


具体的な営業プロセス



社員紹介

お客様の視点に立ち、
 最善の解決へと導きます。



研究開発



2016年度入社
 情報理工学系研究科
 知能機械情報学専攻
 JOB FILE 01

ディープラーニングを取り入れ、 より良い文字認識システムを構築

昨今は、深層学習技術(ディープラーニング)の発展により文字認識の精度が飛躍的に上がっています。私のミッションは、深層学習を取り入れることで、より良い文字認識システムを作ること、具体的には最新技術の調査、実装、評価、改良を中心に業務を行っています。そのほかには、自ら考案した特許提案や、学会発表のための論文作成など、貴重な経験を与えていただきました。



システムエンジニア



2016年度入社
 工学部
 情報工学科
 JOB FILE 02

システム作りの鍵は、お客様との 会話のなかから本音を引き出すこと

毎日みなさんが目にしてる新聞。この新聞をスムーズに制作するためのパッケージアプリケーション開発を担当しています。新聞制作は、お客様ごとに運用が異なるため、いかに運用を理解しシステムに落とし込めるかが大きな鍵を握っています。どのように運用管理したいのか?現場の方にとって使いやすいシステムとは何か?を掴むために、お客様から本音を引き出し、ともに考え、良いシステムを作り上げることができるように取り組んでいます。



システムエンジニア



2015年度入社
 理工学部
 情報システム
 デザイン学科
 JOB FILE 03

システムが、お客様の日常業務に 溶け込んでいくのを体感できるのが醍醐味

私は、メディア企業に対してシステム提案活動を行う部署に所属し、担当している全国紙の新聞社に対して、システムやソリューションを提案、設計しています。より良い提案を行うためにはお客様にヒアリングをおこなうことはもちろんですが、他業界の導入事例や業界動向を学習しておくことも重要なため、文献を読んだり社内外のセミナーやコミュニティで日々情報収集をおこなったりします。



営業



2015年度入社
 教育学部
 総合科学教育課程
 消費生活科学専攻
 JOB FILE 04

お客様の考えを如何に引き出すか、 そのために必要な努力とは

日頃の会話の中で、お客様の考えや、その根拠について引き出す必要があります。日頃から社会の動きを捉え、お客様の情報をインプットし、社内の技術部門ともお客様への確認事項の有無を聞いておくなど、事前の準備が必要です。また、客先訪問時には、当社が関係するシステムのみならず、業務で苦労されている点や発生している問題等を幅広くお伺いし、その内容を技術側と共有して、宿題があれば回答に向けた準備を行うように心掛けています。



こうなりたい!を応援する 充実したキャリアプログラム

◆ 人間力と専門力を磨くキャリアに応じたプログラムを揃えています。



◆ 内定後から入社・配属まで、サポートします。(新入社員育成プログラムの一例)

内定後	4月～	5月～	7月～	
入社前サポート	東芝グループ新入社員教育	東芝デジタルソリューションズグループ新入社員研修	OJT & Off-JT	
<p>入社前研修</p> <p>それぞれに必要なコースを選択し、個々のペースで学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITの基礎知識 ・語学 (TOEIC、ビジネス英語、ビジネスEメール等) ・PCリテラシー (Office) 	<p>導入研修(ビジネス基礎)</p> <p>企業人・社会人への意識転換を行い、自律型人材として基本行動が「できる」人材になるため、基礎を学び、実践の場で身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東芝の基礎 (共有価値、サステナビリティ、イノベーション) ・社会人の基礎 (マインド、自己設計) ・仕事の仕方の基礎 (マナー・文書・仕事の進め方) ・会社の基礎 (勤務、評価・処遇、事業内容) 	<p>導入研修(共通)</p> <p>仕事をする上で最低限必要なビジネススキルやIT基礎知識、スキルを職種共通で学びます。</p> <p>IT基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース、ネットワーク、LAN構築、セキュリティ、インターネット技術 ・IoT、ビジネスモデル・事例 ・IoTアーキテクチャ ・強化学習 (AI・機械学習) ・タイムマネジメント ・共創力強化 <p>社会課題と解決手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考、UXD、アイデアソン ・DXアプリ開発体験 ・タブレットアプリ開発体験 <p>共通教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質、生産技術、知的財産、法務知識 ・業務知識の基礎 	<p>導入研修(職種別)</p> <p>各職種で必要となる知識、スキルを体系的に学びます。</p> <p>【営業職】</p> <p>ヒューマンスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション、段取り力 <p>IT演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Office、システム開発、IoT初級 <p>営業基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社のビジネス、商品 ・マーケティング、経理 ・ソリューション営業 <p>【技術職】</p> <p>プログラミング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミング、Webアプリ開発 <p>提案について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案プロセス、提案書 <p>新技術</p>	<p>配属後の育成</p> <p>配属後は、新人教育一人ひとりにメンター(先輩社員)がつき、育成を担当します。関係者で「育成計画(育成方針・到達目標)」を共有し、OJT(現場で経験しながら学ぶ)をベースに部門・職種別研修などのOFF-JTも活用しながらスキルアップを図ります。直属上司と定期的に行う1on1ミーティング(対話)を通じて、日常業務に関する相談や、自身のキャリア形成に関する相談など、自身の成長に向け上司の支援を受けることができます。</p>
<p>e-learning、自宅学習によるオンデマンド教育</p>	<p>オンライン研修(ライブ配信、オンデマンド)を中心に集合研修を組み合わせ合わせたハイブリッド研修</p>			

時代を先取りした デジタル人材育成のカリキュラム



働く会社から働きたい会社へ

多様な働き方を支援する制度

社員が仕事かプライベートかという二者択一を迫られることなく、のびやかに働けるよう諸制度を充実させ、常に安心して働ける環境づくりを推進しています。



仕事を離れて、リフレッシュ！
プライベートも充実したい！



出産・子育て、介護に直面しても
安心して仕事を続けたい！
家庭生活と仕事を両立したい！

年間休日

124日(2020年度):完全週休2日制(土曜・日曜)、
祝日、年末年始

年次有給休暇

初年度18日、次年度以降24日
(一斉年休充当日5日含む)

ステップアップ休暇

入社5年目以降、5年ごとに5日間の連続休暇を取得できます。

ワイドプラン休暇(積立休暇)

1事業年度につき最大4日(上限20日間)年次有給休暇を積み立てることができ、自己啓発、社会貢献活動等の目的に使うことができます

妊娠保護休暇

妊娠期間中に通院・治療が必要な場合等、
最大14日間の休暇を取得することができます。

ライフサポート休暇

結婚、配偶者の出産、忌引の時に休暇を取得することができます。
(1年度で取得することができる日数は、各事由を合わせて5日を限度)

育児休職

満3歳に達する月末まで3回取得できます。
(1歳6カ月までは、必要とする回数を取得可能)

短時間勤務制度

子供の小学校卒業まで、所定労働時間を最大2時間短縮できます。

介護制度

親族の介護について、休暇や短時間勤務を取得できます。



ワークライフバランスを大切に
メリハリを付けて働きたい！



将来のプランを立てつつ、
長く安心して働きたい

定時退社日

毎週水曜・金曜を定時退社日とし、
メリハリを付けた働き方が可能です。

フレックスタイム制度

始業・終業時間を自ら選択し、柔軟かつ効率的に
働くことが可能です。 ※事前に上長の承認が必要です。

在宅勤務制度

会社のオフィスに出勤せずに、オンラインツールやチャット
ツールを活用しながら、自宅等を就業場所として働く勤務
形態です。

財形形成

生涯設計を財産形成面からサポートします。
(従業員持株会、財形貯蓄、積立年金、企業年金制度)

寮

入寮条件を満たす方は、1Rタイプの独身寮に入寮できます。

住宅費・家賃補助

居住地区、家賃額等により限度額が支給されます。

東芝保険制度

東芝グループのスケールメリットを活かした保険制度です。

※休暇を取得する際は事前に上長の承認が必要です。

働き方改革の取り組み

社員の価値観や抱える事情がさまざまであっても、それぞれが最大限力を発揮し、活躍できる環境を整え、安心して仕事に取り組むことができる仕組みづくりのため、働き方改革に取り組んでいます。

セルフビズの推進

社員一人ひとりがTPOを意識した上で服装を選択し勤務するきっかけをセルフビズにより創出し、より自由で闊達な職場風土の醸成に寄与するものと考えています。

1 形式の排除 (自身の価値観見直し)

当たり前のように着ていたスーツを何故着るのかといった自問を通じ、「今まで」と「これから」についての価値観を見直すきっかけとします。
(自問の結果、今までどおりスーツを着るのも、もちろんOK!)

2 多様性の認知・享受 (ダイバーシティ推進)

ドレスコードの廃止により、多様で新たな風土を職場全体で醸成し、次の世代もこの会社で働きたいと思えるような環境を作るきっかけとします。

3 服装の見直しを通じた 働き方の見直し (暮らしの中の「仕事」)

子育てや介護など、多様な背景を持つ社員にとって効率の良い働き方ができるような服装の見直しを通じて問題提起を行います。



テレワークの推進

在宅勤務やサテライトオフィスを導入し、場所に縛られない働き方をすることで、移動時間の効率化や生産性の向上につなげます。

在宅勤務



サテライトオフィス

出張時の隙間時間をセキュアな作業
スペースで有効活用



社員の声

- ・通勤時間がなくなることで共働きの配偶者に代わって育児(保育所の送り迎え)のサポートができた。
- ・通勤に時間と体力を取られない(ストレスフリー)に改めて気づいた。

※在宅勤務やサテライトオフィスについては利用基準やルールに従って実施。

1on1(ワンオンワン)ミーティング

社員の「こうありたい」「こんな仕事をしたい」「こうなりたい」という気持ちを引き出して自主性と自律性を高める!



※1on1とは:社員の成長を支援するとともに、社員のパフォーマンスの向上と意識改革を目的として、上司と部下が1対1で行うミーティング



上司と質の高いコミュニケーションを短い周期で行うことで、頭の中を整理し、目標達成や課題解決につなげる

メリットってどんなこと?

- ▶上司と1対1で、自分の考えを自分の言葉で話し、意思疎通を図ることができること
- ▶抱える課題・悩み・理想を話し、上司からの質問に答えることで、自身の思考を整理すること
- ▶自己アピールの場、成長を見せつける場としても使えること

※セルフビズ:硬直的な考え方を改める(柔軟性を引き出す)ため、年間を通して各社員の判断で服装を自由に選んで勤務する、自己管理主体のアクションを喚起する取り組み。
※テレワーク:ICTを活用し、時間や場所に囚われない柔軟な働き方。

サステナブルな社会の実現に向けて、すべての事業活動を通じてSDGsの達成に貢献

今、私たちが住む地球は、環境、社会及び経済の面で大きな課題に直面しています。こうした課題に対処するため、2015年に国連で採択されたのが「持続可能な開発目標(SDGs)」であり、2030年に向けた世界的な優先課題および世界のあるべき姿が明らかにされています。

東芝は140年以上に亘り、企業としての社会的責任(サステナビリティ)を果たしながら、事業を通じた社会課題の解決に取り組んできた歴史があります。東芝グループの中でデジタルソリューション事業を担う当社は、東芝のIoT/AIをはじめとする最新のデジタル技術により、デジタルトランスフォーメーションをリードし、グローバル社会において新たな価値の創造を目指しています。私たちは、グローバルな共通認識である持続可能な社会へ向けたSDGsの視点で企業価値を向上し、事業の成長を果たしていきます。そのために、これまで取り組んできているサステナビリティ活動を『企業活動による貢献』として継続するとともに、事業戦略であるデジタルソリューションによる新たな価値の創造を『事業を通じた貢献』として取り組んでいきます。デジタル技術の活用と社会やお客さまとの共創活動により、SDGsの全ての目標に間接的な貢献も含めて取り組んでまいります。

東芝デジタルソリューションズ SDGs貢献への取り組み



わたしたちのビジョン
やさしく、あたたかなデジタルで社会を豊かにする。

東芝グループの経営理念「人と、地球の、明日のために。」のもと、デジタルの力で持続可能な社会の実現を目指していきます。

デジタルで貢献するSDGsワークショップを開催

東芝版デザイン思考である「カスタマーバリューデザイン」の手法を用いて、SDGsと事業との関係性を見える化するためのワークショップを開催しました。Society 5.0 が掲げる多くの目標の中から各事業で貢献できる目標を抽出し、SDGsの169のターゲットを「環境」「社会」「経済」「ガバナンス」の視点で分類したカードを使って、SDGsの紐付けを行いました。



さらに2030年を見据えて、バックカスティング思考により、「社会・消費者」「政治・政策・規制」「技術進展」「顧客会社」「自社」の5つの視点で目標を達成するために必要なアクション・変化を挙げながら、ステークホルダーに提供できる価値についてもディスカッションをしました。



会社概要

※会社情報、組織名などは、2021年1月現在のものです。

名称	東芝デジタルソリューションズ株式会社 Toshiba Digital Solutions Corporation
所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
事業内容	システムインテグレーション及びIoT/AIを活用したICTソリューションの開発・製造・販売
資本金	235億円(東芝100%)
売上高	2,524億円(連結/2020年3月期)
関係会社	8社(国内7社、海外1社)
従業員数	(単独)3,880人 (連結)8,621人(2020年2月現在)

関連会社

- 東芝デジタル&コンサルティング(株) デジタルビジネス戦略コンサルティング
- 東芝情報システム(株) SI、組込、半導体エンジニアリング
- 東芝ITサービス(株) IT系保守、運用サービス
- 日本システム(株) SIソフト開発
- 中部東芝エンジニアリング(株) 半導体エンジニアリング
- 九州東芝エンジニアリング(株) 地域対応SI、半導体エンジニアリング
- イー・ピー・ソリューションズ(株) 各種コンサルティング
- 東芝藩陽情報システム社 中国システム販売

全国の拠点

北海道支社(札幌市)

東北支社(仙台市)

北府中事業所(東京都府中市)

北府中事業所(東京都府中市)

九州支社(福岡市)

中国支社(広島市)

関西支社(大阪市)

中部支社(名古屋市)

本社(神奈川県川崎市)

拠点情報の詳細は、当社WEBサイトよりご確認ください

【個人情報取り扱い】

企業セミナーや会社説明会において、受付カード等にご記入、提出いただいた個人の情報は、当社が、就職情報や就職活動、新社会人になるための準備に役立つ情報、当社のパンフレット等をお送りすることのみに使用し、他の目的で使用することはありません。ご記入いただいた個人情報は、当社の責任において厳正かつ安全に保管・管理いたします。記入された個人情報に変更がある場合、または当社からの就職情報の提供が必要とされなくなった場合は、東芝デジタルソリューションズ 株式会社 人事部 勤務部 勤務担当に、(1)登録削除および登録の内容変更 (2)記入したイベント 会場名 (3)氏名 (4)大学、学部・学科、研究科・専攻、卒業予定年月 (5)現住所 (6)現住所電話番号 (7)メールアドレスを、E-Mailまたはお電話でご連絡をお願いします。



11820136(10)
当社は、2002年1月にプライバシーマークを取得しています。
*プライバシーマークは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(旧財団法人日本情報処理推進協会)(JIPDEC)より個人情報の適切な取扱いを行っている事業者が付与されます。



えるぼし認定マーク(第3段階)

お問い合わせ先

東芝デジタルソリューションズ株式会社

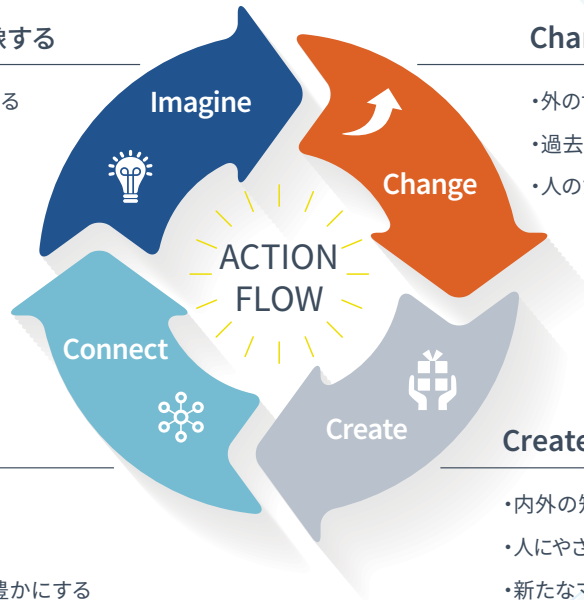
人事総務部 勤務厚生担当
〒212-8585
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
TEL.044-331-1107
E-mail:saiyo@toshiba-sol.co.jp



4つのアクションは、一連の行動として繰り返し行い、
自らの成長を伴いながらスパイラルアップさせ続けることで、
デジタルソリューションを実現していきます

Imagine: 未来のあたり前を想像する

- 未来に何が求められているかを常に考える
- 人が中心のデジタル社会を想像する
- 気づいていないあたりまえを掘り起こす



Change: 自ら進化する

- 外の世界に触れ、今までにない思考を身に付ける
- 過去にとらわれず新しい文化を育む
- 人のために技術を磨く

Connect: 世界に発信する

- ソリューションを世界に発信する
- デジタル技術で世界に仲間を広げる
- デジタルで世界の人々をつなげ、社会を豊かにする

Create: ともに価値を生み出し続ける

- 内外の知を結集する
- 人にやさしく社会にあたたかなソリューションを作る
- 新たなマーケットを創造する



当社は、2002年1月にプライバシーマーク®を取得しています。*プライバシーマークは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(旧財団法人日本情報処開発協会)(JIPDEC)より個人情報の適切な取扱いを行っている事業者が付与されます。

このパンフレットの印刷用紙は、適切に管理された森林からの原料を含むFSC認証紙を使用しています。VOC(揮発性有機化合物)成分フリーのインキを使用して印刷しています。